

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2017 実績	年度	2018	2019	2020	2018・2019年度 取組内容	自己評価や今後の 課題・対応策など
いきいき100歳体操	歩行能力レベル測定と予防体操などを委託事業として実施している。実年齢と歩行年齢を知ってもらうことで介護予防に取り組む意欲向上につなげていく。	7箇所	目標	13箇所	19箇所	25箇所	2018年度に開始した地区では継続して実施できている。2019年度は「いきいき100歳体操」介護予防サポーターを養成し、サポーターを中心に新規に6箇所開始した。	自己評価：○ 地域での住民主体の活動を推進していくためにも今後も介護サポーターとして活躍できる人材の育成に努める。また、参加促進のためのアウトリーチとして対象者の抽出や訪問等の取組が必要である。
			実績	13箇所	19箇所	-		
運動機能向上介護予防教室	介護予防に資する基本的な知識の普及のため、健康教育、介護予防教室等を実施していく。		目標	3箇所	3箇所	3箇所	温水プールでの水中運動を中心に筋力トレーニング等を行う介護予防教室を実施した。2018年度の参加者は24人、2019年度は31人であり、開始前と比べると歩行速度やフレイル評価に維持改善が認められた。	自己評価：△ 計画当初は3箇所の予定であったが運動指導に従事する理学療法士の確保が困難であったため未達成となった。また、参加者が計画人数と比較すると少なかつたため、他関係機関と連携した幅広い周知が必要である。
			実績	2箇所	2箇所	-		